



社会医療法人 栄光会

栄光病院

EIKOH HOSPITAL

広報誌（医療版）

Vol. 39

2025 Apr

# 手と目と



「春の訪れ」

回復期リハビリテーション病棟  
の作品

## ■Contents■

- 巻頭言
- 第 81 回栄光ホスピスセミナー開催報告
- 特集 ウキウキ・ワクワク・フィロソフィ  
～パートナーシップ～看護部の取り組み
- 部署紹介
- 【連載】  
医療・看護の質向上への取り組み
- 健康のためのちょっとイイお話し
- Information
- My Favorite ～私のお気に入り～
- 診療スケジュール
- 編集後記

（「栄光会フィロソフィ」より）

「最も小さい者のひとりにしたのは、  
わたし（キリスト）にしたのです」（聖書）  
は、栄光会創立の聖書の言葉です。

「今月のことば」

「手と目と」

この言葉には、  
「手」と「目」で「見る」  
（手＋目＝看）という  
私たちの思いが込められています





社会医療法人 栄光会  
事務局長 後藤 拓



事務局長として栄光会の運営にかかわるようになり5年程になります。その間の医療・介護を取り巻く環境の変化は凄まじく、人員不足・医薬品不足・経費高騰・等々、課題をあげればきりがありません。

その厳しい環境が現れた結果でしょう。2024年の「病院倒産・休業案件数」及び「介護事業所倒産件数」はともに過去最多となりました。我々、医療・介護を担う法人は、今までになく厳しい時代に突入したことをひしひしと感じています。

さらに、国は限られた医療・介護資源を効率的に分配するため「再編・統合」を推し進めています。そのひとつが「機能分化」です。簡単に言うと、「地域の医療機関が連携し、役割分担する」というものです。

そのため、医療機関各々が、あらためて自分たちの得意分野等を精査する必要がある、我々も、他にはないもの「栄光会だからできる、医療・看護・介護」や、「栄光会だから得られる、やりがい・達成感」を追求することが必要です。

実は栄光会の創業者である【藤江・下稲葉・折田】の3人のクリスチャンドクターは、創業時にこのコンセプトをもっていました。

それが【101番目の病院】です。これは、既に存在している病院を「100の病院」と表現し、その100の病院が持つていない要素と特徴をもち、そこでしか果たせない役割を果たす病院を以て【101番目】と表現しました。

それは、「キリスト信仰に基づいた医療、からだと心を診る医療、そして幸せと生きがいにくす医療・看護・介護を提供する病院」である、とあらためて、これを45年前に考えていた3人の創業者に感服します。

時代は変わったかもしれませんが、しかし、栄光会が進むべき道と目指すべき理想、そして果たすべき使命は変わらない。それを心に銘記し、これからも地域の皆様と栄光会とともに働いてくれるスタッフに伝えることができるよう、日々精進してまいります。

これから皆様の温かいご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 第81回 栄光ホスピスセミナー開催報告

「第81回 栄光ホスピスセミナー」

故・下稲葉康之 前・理事長 追悼セミナー

～ホスピスこそ人生道場・私たちが受け継いだもの～



去る2025年1月18日（土）、福岡国際会議場にて、第80回記念セミナーを開催して以来、実に5年ぶりに栄光ホスピスセミナーを開催することができました。コロナ禍の2021年9月2日、社会医療法人 栄光会 名誉会長・名誉ホスピス長であり、NPO 栄光ホスピスセンターの前・理事長であった下稲葉康之は、その82年間の人生を全うし、天に召されました。

栄光ホスピスセミナーを再開するにあたっては、ぜひ「対面で」行いたいということ、そして、「追悼セミナーとして開催したい」という願いをずっと持っていましたので、この度、多くの方のご理解・ご協力を得て、それが叶ったことは大変嬉しく、感謝しております。

今回のセミナーのために、北海道・札幌から前野宏先生（札幌南徳洲会病院 名誉院長／NPO ホスピスのこころ研究所 理事長）がお越しくださり、下稲葉が大事にしておりました「ホスピスのこころ」について、前野先生の豊かなご経験をもとに、故人の思いを汲みして語っていただきました。また、故人と親交の深かった3人の方々に思い出も語っていただきました。

追悼の思いをもって集まってくださった多くの方々の温かいお気持ちがただただありがたく、本当に何とも言えない幸せな時間となりました。改めて、心より感謝申し上げます。

（報告：NPO 栄光ホスピスセンター事務局）



日時：2025年1月18日（土）  
13:30～17:00  
会場：福岡国際会議場





## 『ウキウキ・ワクワク・フィロソフィ ～パートナーシップ～』

### 看護部の取り組みについて



私たち看護部のあるべき姿「栄光会理念（フィロソフィ）を理解し、実践できる看護部となる」そして看護部理念『優～やさしさ～』を目指し、ホスピスマインドを中軸に、私たちが関わる全ての人の『幸せ』の『小さなきっかけ』となる働きを目指して、日々看護をしています。

看護部研修は毎年全8回実施していますが、2023年度より年度末の1月と2月に【フィロソフィ発表会】を行っています。医療介護事業部の看護師職員配置部署の代表者1名が自身の体験を発表し、出席者一同心温まる時間を共有する場となっています。



栄光会フィロソフィの中に求められているパートナーシップとは、「職場におけるコミュニケーションは、最終的には緊密なパートナーシップにまで至るべきです。職場を共にするスタッフ同志にとって、とても大切なテーマです。（栄光会フィロソフィからの引用／P74）」2024年度は、パートナーシップについて個々に意識を高め実践していくことを、看護部目標の中の1つに掲げました。

私たち看護師が継続的に患者さんの看護とそのご家族を支援していく過程において、決して一人では対応できませんし、看護部門だけでも限界があります。多くの職種とチームとして協働してはじめて『こころ』と『からだ』もともに癒される栄光会ならではの療養環境を提供できるのではないかと考えています。

2023年度に開催したフィロソフィ発表会は、自身の看護にまつわるエピソードを題材に看護主体の内容でありましたが、2024年度は『パートナーシップ』相互関係と信頼関係を基軸としたエピソードへと発展し、職員一人一人が栄光会で働く集団として、心と心の絆を深め、力を合わせて支えあう強力なパートナーシップへと成長していることを改めて知る機会となりました。

今後も『栄光会理念の理解をより深め』『看護部理念 優～やさしさ～』を基盤に私たち職員一同が心と想いを通わせる温かみのあるパートナーシップを築き上げていきたいと思います。

（看護部長 堤 千香子）



## ライフサポートセンターとは

地域医療連携室の役割を果たし、患者さんが住み慣れた地域で安心して生活できるよう医療と地域をつなぐ架け橋となる部署です。

現在ライフサポートセンターには

医師1名、看護師4名、ソーシャルワーカー（相談員）5名が在籍しており、病院やクリニックなどの関連機関と連携し、受診や入院退院の調整を行っています。また、入院中や退院後の不安を少しでも軽減できるよう、患者さん・ご家族に寄り添い、医療や福祉、社会制度に関する問題を解決できるようお手伝い致します。

ライフサポートセンターの看護師は入院の支援（前方支援）を行っています。

急性期病院や地域のクリニックなどからの入院・転院相談の窓口となり、入院前にはご家族と電話面談を行う等して、安心して入院頂けるよう、丁寧且つ速やかな調整を心掛けています。また、ホスピスの面談や入院の相談も承っています。



また、ソーシャルワーカーは入院時から退院までの支援（後方支援）を行っています。

入院時から退院後の生活を見据え、患者さん・ご家族の希望を伺いながら、退院調整を行います。介護保険や指定難病申請など様々な社会資源を活用し、退院後に安心して生活できる場所の提案・調整を行います。



看護師長代理  
倉田

副センター長  
梅野

センター長  
下稲葉

ライフサポートセンターは  
1F 玄関入口から左手に部署を構えています。  
お気軽にお尋ねください！  
また、お電話での相談も承っています。



受付時間：月～土

9：00～17：00

TEL：092-692-1070（直通）

FAX：092-931-2125（直通）

4月より新たなメンバーも加わり新体制となりました^^

# 医療・看護の質向上への取り組み



～主任会～

看護補助者のタスクシェア / シフトの推進に向けて

回復期リハビリテーション病棟  
看護主任 平山 好恵

2022年度より主任会では医療・看護の質向上への取り組みとして、  
**看護補助者へのタスクシェア / シフトの推進**に向けた活動を行ってきました。  
質の高い看護を提供する為、看護職が専門性を必要とする業務に専念し、  
その専門性を発揮できるよう、  
看護職と看護補助者が適切な役割分担をする体制整備が重要で、  
『看護補助者マニュアル』を作成し、看護補助者の役割・業務の明確化を図りました。

2024年度より、1部署で実際に看護補助者へのタスクシェア / シフトの  
運用を開始すると共に、看護補助者の役割を担う為に必要な知識・技術を  
取得するための研修を実施しました。  
専門的内容であるため、その専門のリハビリのスタッフに講師を依頼し、  
**上期に理学療法士から『移乗』を、下期には言語聴覚士から『食事介助』の研修を  
全看護補助者対象に実施**しました。



■「移乗」の様子

研修後のアンケートでは、  
「患者さん側を体験したことで移乗のスピードや体へ触れる際、  
どのように感じるか理解できたことでより、声掛け、丁寧な介助を心掛けようと思いました。」  
「膝折れする患者様の移乗等に役立てたい。」「患者様の健康状態を常に観察し嚥下障害の  
基本的な知識をもって介助が必要か、どのような注意が必要か考えながら介助したい。」  
などの意見が聞かれており、毎日のケアに活かす事ができる研修になったと思います。

2025年度も看護補助者へのタスクシェア / シフトがより推進していくよう、  
主任会を中心に看護師と看護補助者との協働に取り組んでいきたいと思います。



■「食事介助」の講義の様子



■トロミ水の試飲の様子



# 健康のための

## ちよつとイイお話し



栄光病院

歯科衛生士

矢野 佳恋



### 口の弱りは身体の弱り

食事をしているときにむせたり、こぼしたり、柔らかいものばかり食べていませんか？  
活舌が悪くなった、お口が乾きやすい、自分の歯が少ないと感じることはありませんか？  
今は健康で元気でも、口の関する『ささいな衰え』が積み重なると体の弱りがでてきます。

これをフレイル（虚弱）といいます。

フレイルとは高齢になって心身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながり）が低下した状態をいいます。筋力などの身体機能の低下より先に、社会参加など他者との交流が減ったり、口の機能が衰えること（オーラルフレイル）から始まります。



### オーラルフレイルってなに？

オーラルフレイルとは、嚙んだり、飲み込んだり、話したりするための口腔機能が衰えることを指し、早期の重要な老化のサインとされています。嚙む力や舌の動きの悪化が食生活に支



### オーラルフレイル予防

#### ① かかりつけ歯科を持ちましょう！

障を及ぼしたり、滑舌が悪くなることで人や社会との関わりの減少を招いたりすることから、全体的なフレイル進行の前兆となり、深い関係性が指摘されています。

毎日の歯磨きは、正しいブラッシングで、虫

歯や歯周病を予防し、健康な歯を維持することにつながります。虫歯や歯周病の原因となるプ

ラークは食べ物の残りカスが歯の表面に付着して細菌が繁殖したものです。プラークはうがい

だけで取り除くことはできません。歯ブラシを正しい方法で行い、歯間ブラシや糸ようじも使

用し歯と歯の間の汚れも磨き残しのないように注意しましょう。定期的にかかりつけ

歯科を受診することで、毎日の歯磨きが正しく行えているか、虫歯や歯周

病のリスクがないかチェックしてもらいましょう。



#### ② 口の『些細な衰え』に気を付けましょう！

固いものが食べにくくなった、お茶などでむせることが増えた、口が乾くようになったと感じたら、口の体操を行い口周りの筋肉や唾液腺マッサージを行いより良い環境を作りましょう。

#### ③ バランスのとれた食事をとりましょう！

バランスのいい食生活をしている方は、偏った食事をしている方と比べて、フレイルに該当する割合が低いです。1日3回、たんぱく質やビタミン、ミネラルなどの栄養素をしっかりと、筋肉や内臓に蓄えられているたんぱく質を減らすことなく維持しましょう。特にたんぱく質は体をつくる重要な役割があります。1食につき手のひらにのる程度の量を目安として、肉や魚、大豆製品、卵、乳製品をとっていきましょう。



## 新入職ドクターのご紹介



永田 諭

ながた さとし

所属 神経難病病棟

〈所属学会 / 専門医等〉

医学博士

日本内科学会 認定内科医

日本神経学会 神経内科専門医

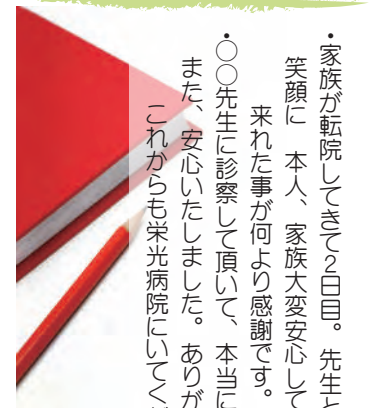
今年度から脳神経内科で診療をさせて頂くことになりました。永田諭と申します。

私自身、以前には患者さん側として栄光病院やファミリークリニックを受診したこともあり、大変身近な病院だと感じていました。これからは、私が感じた身近な医療を提供する側として、これまで勤務した急性期病院や大学病院、慢性期病院での経験を生かせればと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

趣味はテニス、野球観戦、飼い犬を吸うことです。

## 患者さん、ご家族の声



意見箱へのあたたかいメッセージを  
ありがとうございました。  
今後とも「意見・ご感想」などを  
お寄せ下さい。

・家族が転院してきて2日目。先生とスタッフさん達の優しい笑顔に 本人、家族大変安心しています。こちらの病院に  
来れた事が何より感謝です。  
○〇先生に診察して頂いて、本当に助かりました。  
また、安心いたしました。ありがとうございます。  
これから栄光病院にいくのださいます。

## My Favorite ～私のお気に入り～

『パッと、布をひろげる瞬間、みなさんの顔もパッと笑顔になりました』

栄光病院 3B病棟  
看護師 鳥飼 咲弥子

染まる瞬間は毎回ワクワクと緊張があり、私のライフワークとなっています。

ひとつひとつが手作業のため、多くは作れませんが、天然の藍色の美しさに魅了されて何年も続けてやっています。いつかは海のみえる山に小屋を建て、藍を育てて染色ができればいいな…と夢を描いています。

今回、病棟で藍染体験会ができ、みなさんと楽しい時間を共有できたことは私の思い出になりました。ありがとうございました。

体験会で使用した藍の葉も、実は病棟スタッフが心を込めてベランダで育てたものです。染料の材料となる植物から自分たちで育てて作り上げたものは感動もひとしおです。

私は趣味で藍染をしています。

小さな畑ですが、3月の終わりに種まきを行い、7月から8月にかけて藍の葉の刈り取りをします。そこから染料を作って、染色を行います。大変な作業ですが、布が



※広報誌の送付が不要な方は 下記までご連絡ください。

社会医療法人 栄光会 広報営業部会 担当：齋藤

TEL 092(935)0147

E-mail saito-h2-9@eikoh.or.jp

4月

診療スケジュール

■ 栄光病院

(2025年4月1日現在)

| 曜 日             |         | 月   |       | 火   |     | 水     |      | 木                 |     | 金     |     | 土                    |                             |
|-----------------|---------|-----|-------|-----|-----|-------|------|-------------------|-----|-------|-----|----------------------|-----------------------------|
|                 |         | 午 前 | 午 後   | 午 前 | 午 後 | 午 前   | 午 後  | 午 前               | 午 後 | 午 前   | 午 後 | 午 前                  | 午 後                         |
| 総 合             | ①       | 原   | 藤木・永田 | 布 巻 | 原   | 青 戸   | 安 藤  | 原/安藤              | 永 井 | 藤 岡   | 青 戸 | 原/安藤                 | 手 越                         |
|                 | ②       | 当番医 |       | 鶴 田 |     | 原     |      | 井 上               |     | 鶴 田   |     | 手 越                  |                             |
| 外 科             |         | 井 上 |       | 園 田 |     | 井上/園田 |      | 斎 藤               |     | 斎 藤   |     | 井上/園田                | 井上/園田<br>(初診のみ)<br>受付16:30迄 |
| 専 門・<br>予 約 外 来 | 循 環 器   |     |       |     | 眞 柴 | 畑 島   | 折田義也 | 折田加奈子             |     |       |     |                      |                             |
|                 | 呼 吸 器   |     |       |     | 安 藤 |       |      |                   |     | 安 藤   |     | 山中(第1土曜)<br>長瀬(第3土曜) |                             |
|                 | 糖 尿 病   |     |       | 永 井 | 永 井 | 市 川   |      | 永 井               |     |       |     |                      |                             |
|                 | 脳神経内科   | 鶴 田 |       | 大 野 |     | 藤木・永田 |      | 大 野               |     | 藤木・永田 |     |                      |                             |
|                 | 整 形 外 科 |     | 山 口   | 本 村 |     |       |      | 原雄人<br>(am10:00～) |     |       |     |                      |                             |
|                 | 泌 尿 器 科 |     |       |     |     |       |      |                   |     |       |     | 九 大                  |                             |

## 土曜日 午後の外科診療

行っています 但し、初診のみ

けが・やけど、動物に咬まれた、打撲 等

※医師は井上・斎藤・園田が交替で担当します  
※受付は16:30までです

診療スケジュールは都合により変更となる場合があります。

予めご了承ください。

○診療時間は、9:00～17:00(昼休み12:30～13:30)となっています。

なお、午前中の受付は12:00までとなっておりますので

ご注意ください。ただし、急患は24時間いつでも受け付けております。

○専門外来・ホスピス相談は原則として予約制となっています。

ご予約がないときは、お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

## 【発熱外来 事前予約不要のお知らせ】

発熱外来を受診ご希望の際、「事前予約」は「不要」です。

抗原検査をご希望の場合や、ご不明な点がございましたら、

事前に電話でのお問い合わせにも対応させていただきます。

ご遠慮なく外来へお問い合わせください。

## 【救急外来受付】

救急患者さんの受け入れを

24 時間体制で行っています

※事前に ☎ お電話にて

診療科の確認をお願いいたします

TEL.092-935-0147

## 栄光病院グロリア基金のご案内

栄光会の医療・介護・福祉の事業展開のために皆さまお一人  
お一人のお力添えを心よりお願い申し上げます。栄光会事業の  
趣旨にご賛同賜り、ご支援頂けますならば、誠に幸甚に存じます。

## 【グロリア基金 お振込口座】

栄光病院グロリア基金 代表 井上 裕

西日本シティ銀行 博多支店 普 No.1533165

福岡銀行 吉塚支店 普 No.1443197

郵便振替 No.01730-8-76630 (代表者名等なし)

\*法人・個人を問わず任意の額で結構でございます

## 編集後記

4月、春の陽気とともに新たなスタートをきる季節がやってきました。私は約20年勤務した病棟を離れ、外来へ部署異動になりました。初めての環境に身を置くこととなり、今まで経験したことないことばかりで、慣れない環境に戸惑いながら緊張と不安な思いで毎日を過ごしております。

しかし、そんな中で大きな楽しみも！最近我が家に子犬を迎えました。わずか800gの子犬と過ごす時間が、仕事の疲れを癒してくれています。私自身も子犬も新しい環境に慣れていくためには時間がかかるかもしれませんが、自分自身の成長と子犬の成長を楽しみに頑張っていこうと思います。

栄光病院にも新年度からフレッシュな顔ぶれの新入職者の方々を迎えることになり、病院全体が活気に満ち溢れています。患者さんやそのご家族に、栄光病院に来てよかったと思っていただけるようスタッフ一同心を込めたお手伝いができればと思っています。今年度もよろしくお願いします。(福地)



救急告示病院

社会医療法人 栄光会

栄光病院

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

Tel.092(935)0147

Fax.092(936)3370

URL: <https://www.eikoh.or.jp>E-mail: [eikoh@eikoh.or.jp](mailto:eikoh@eikoh.or.jp)